

# 世界ポリオデーについて 2580

## 地区ポリオデーチームリーダー・東京荒川 RC

### 石川 幸男様



### ポリオ根絶まで あと少し！

ロータリーは ポリオに対する認識の向上・募金活動・各国政府への働きかけを担っています～

### 先ず、ポリオって何？

ポリオ（急性灰白髄炎）は、強いウイルス感染によって発症する病気でワクチンでの予防が可能。感染すると、ウイルスが神経組織に入って身体まひを引き起こし、ときには死に至ることもあり治療法はありません。5歳以下の子どもに感染する確率が高く「小児まひ」とも呼ばれています。日本では1960年代に北海道を中心に5000名以上が発症する大流行後、一斉投与が始まり、1981年にポリオ麻痺症例はなくなりました。日本におけるポリオ根絶が世界で認められたのは2000年。しかし現在でも、子供達には4種混合ワクチンで接種されていて、世界がポリオゼロに到達するまでは継続した努力が必要とされています。ポリオウイルスの宿主はヒトのみ。鳥や豚などからは感染しません。コロナウイルスと異なり変異しません。同じタイプの天然痘は根絶されました。ポリオは、I型、II型、III型の3タイプあり、現在はI型のみなので根絶可能です。

WHOは、NID s（一定年齢の子供たちに一斉投与）計画により2000年までにポリオ根絶宣言を目指していましたが、世界の経済的・政治的不安を背景に延期となっています。アフガニスタンとパキスタンの2ヶ国は紛争地帯ということもあり、ワクチン投与が出来ていないのが現状です。

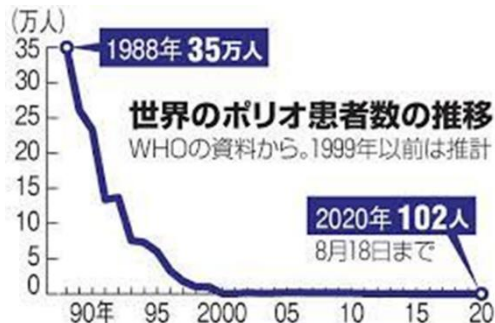
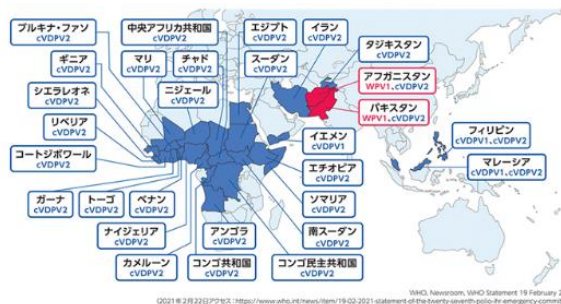
### 1988年、ロータリーはポリオ根絶活動を開始しました！！

ロータリーが34年前、ポリオを根絶する取り組みを始めました。子どもを対象とした世界で初めての取り組みで、GPEI（世界ポリオ根絶推進活動）はロータリーが中心となりWHO、米国疾病対策センター、ユニセフ、ビル&メリンダ財団のパートナーと共に、ポリオがなくなる世界を目指し、大きく貢献しています。

ロータリーの主な役割は、世界140万人以上の組織インフラを使って①ポリオに対する認識の向上、②募金活動、③各国政府への働きかけを担っています。⇒次に40年以上取り組みポリオ根絶に成功したアフリカケースご紹介（動画視聴）

### これまでの34年間の成果とゼロへの期待

- ① 1988年スタート当時125カ国で35万件発症 ⇒99.9%減 2か国2件へ激減（アフガニスタン、パキスタン）
- ② 身体まひにならずにすんだ人の数＝推定約1940万人以上に及ぶ  
命を落とすことのなかった人の数＝推定約150万人以上に及ぶ
- ③ 発症ゼロには、ポリオウイルス根絶が必須。今ワクチン接種を止めると急激復活します
- ④ 昨今、ウクライナ・コロナパンデミックなど不安情勢による難題が続いています。
- ⑤ 更に予想される莫大な費用と時間



ロータリーは毎年5000万ドルを拠出目標。ビル&メリンダ・ゲイツ財団は、2倍額を上乗せ寄付約束。毎年合計1億5000万ドルが寄付され、活動運営、医療従事者の確保、研究所の設備、啓発用資料のために使用されます。政府や企業、ロータリー会員だけでなく、街頭でポリオを知らない人々に、認識や共感を深める為の呼びかけを行っています。

### 2022年10月23～24日「世界ポリオデー2580」

世界各地のロータリアンがクラブや地域社会と一体となって、ポリオ根絶啓蒙⇒募金⇒イベントをクラブ奉仕参加型で行います。

- ① ロータリーの最優先課題である「ポリオ根絶」の社会的使命と課題を知ること。
- ② クラブが率先して一般社会へ活動周知すること。
- ③ 募金協力を仰ぎ、クラブの活性化やロータリアンのロータリーモメントに繋げること。

### <現状と課題>

- ① ロータリアンの認知不足  
世界的なポリオ根絶の取り組みをロータリーが牽引し、貢献してきたこと、これまでの具体的な取り組みや影響力についてロータリアンの認識が不足している。
- ② 社会的認知が不十分 社会的基盤が未整備  
ロータリーがポリオ根絶の為の取り組みをしていることを、地域個人、一般社会に対して活動・組織の実態を広報することにこれまで積極的ではなかった為、一般社会に認知されていない。

### 1) クラブ募金活動

- ① 地区から配布される募金箱をクラブ例会場に設置
- ② 会員の職場や、病院、学校、市町村などに情報発信のパネル及び募金箱の設置をお願いできる場所を確保する。（要請書・活動趣意書・ポスター添付）地区作成予定

### 2) 街頭募金活動 10月23日（日）

- ① 街頭募金を行う場所と時間を決め、9月30日（金）迄に市や警察などの交通許可書を受領する
- ② チラシ・のぼり・ポスター・募金箱を用意する（地

区より配布)

- ③インターアクトやローターアクト、米山奨学生、交換留学生へ参加要請。Tシャツを着て一緒に活動
- ④役割分担（導入係・募金箱係・パネル説明係）
- ⑤撮影担当はあらかじめ、誰にどのようにインタビューするか、何を撮影するかイメージしておき撮影
- ⑥ ⑤を広報委員会の設置する広報ボックスに投稿⇒YouTube にアップされる
- ⑦広報委員会は、23日撮影情報を編集フューチャーし、24日のイベント会場へ速報発信
- ⑧次の日10月24日午前中、集計作業を行う

### 3) ポリオデー映画上映会 「我一粒の麦なれど」

10月24日（月）東武レバントホテル 15時30分開場、16時上映開始予定

### 4) ポリオデーディナー会

映画上映会後18時開始予定

- ・予算：6,000円（映画鑑賞費込み）
- \*映画上映費用は、地区より補助させていただきます。  
予算内訳：3,000円（食事代）3,000円（ポリオ根絶のための寄付）
- ・街頭募金の集計発表を行う。
- ・集客：ロータリアン120名以上の参加を目指す。

### 協力内容の確認とお願い

- ①募金ボックスは地区より配布いたします。
- ②ポリオTシャツは、ご購入お願い致します。